

## 令和3年度 大阪府立茨木西高等学校 第2回 学校運営協議会（記録概要）

第2回学校運営協議会は、10月に開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症に係る状況を勘案し、郵送やメール等によりご意見等を聴取することで、会議の開催の代替としました。

「令和3年度 学校経営計画」の進捗状況等を学校運営協議会委員のみなさまに送付し、それについてFAXまたはメールでいただいた意見をまとめ、学校運営協議会委員の了承を得たものを、「令和3年度第2回学校運営協議会議事録」とさせていただきます。

### 協議会委員：

#### ・委嘱委員（敬称略）

会長	山本 稔	大阪リゾート&スポーツ専門学校・大阪医療秘書福祉専門学校・大阪こども専門学校 校長
副会長	谷 郁夫	ITコンサルタントふるもん
	山田 泰司	茨木市立西陵中学校 校長
	山田 咲生子	代々木ゼミナール大阪南校
	田原 正也	地域代表
	中田 エミ	保護者代表

#### ・校内委員

校長、教頭、事務長、首席2名、進路指導主事、1年学年主任、2年学年主任、3年学年主任

「令和3年度 学校経営計画」進捗状況について、各運営協議委員からのご意見・ご質問

（山本稔会長）

#### 1 確かな学力

##### (1) 生徒の学習支援

イ・夏休み中・・・316名      ・外部模試・・・234名      それぞれ評価

ウ・図書館を活用は具体的にはどのようにしているのか？ 質問コーナーも含め

➤ 図書館では、アクリル板のパーテーションの設置・手指消毒をさせるとともに、利用者名簿を作成する等、感染予防を徹底しています。また、始業前の自習を希望する生徒への対応として、年間を通して毎朝8時から開館しています。

質問コーナーでは、本年3月の卒業生（43期生）からの卒業記念品として、しっかりとしたホワイトボード（3か所）を新調いたしました。始業前・昼休み・放課後には、質問コーナーを活用して生徒が学習指導を受ける姿が日常的に見られ、今後も生徒がいつでも質問できる環境づくりに努めてまいります。

##### (3) 授業力向上

イ・教職員研修5回実施済み      コロナ禍の中がんばっている 評価

### 3 自律する力

#### (2)安全安心な学校づくり

イ・「校長マネジメント・・・SCの訪問日数を倍増した」多様な生徒対応として

評価

ウ・生徒および・・・880万人訓練は？

➤ 訓練当日の9月3日(金)は、豪雨のための一斉訓練は中止となりました。

本校独自の「安否確認訓練」は予定通り実施し、Google form を活用して生徒・保護者から安否報告してもらいました。

### 4 つながる力

#### (1)HR活動、生徒会、部活動の活性化

イ・「オーストラリア・・・語学専門学校での疑似留学体験」具体的な内容は？

➤ 7月15日(木)午後、2・3年生の希望者16名がECC国際外語専門学校を訪問し、次のような留学体験をしました。

・ 専門学校の生徒のみなさんの協力のもと、出入国や機内で使う英語を学び、国際線の搭乗や出入国審査などを疑似体験。

・ ネイティブスピーカーの先生も交え、ホストファミリーへのお土産の渡し方、留学生とのフリートーク。

生徒たちは、学校ではできないような体験を通じて、英語を使う楽しさや難しさを感じることができた様子でした。詳しくは、本校の「校長室便り」をご覧ください。

### 5 生徒に向き合う力

#### (1)チームで生徒と向き合う

ア・「9月末現在・・・43件」 前述のSCと併せて 評価

・「生徒一人一台端末もモデル校8校に選出され・・・」 他の7校はどこか？

研究授業も含め内容によっては強調すべきではないか？

➤ 山田・桜塚・摂津・北かわち阜が丘・門真西・夕陽丘・東百舌鳥 です。

(谷郁夫副会長)

#### 1 確かな学力

##### (1)生徒の学習支援 (イ)「総合探究」策定中について

・新たな難しい課題です。試行錯誤を経て茨木西高校独自のノウハウを掴まれる事を期待します。ご支援が必要であれば申し出てください。

##### (1)生徒の学習支援 (イ) 自主的な個別学習

##### (2)グローバル人材育成 (ア) 英語スピーキングについて

・ヒアリングの次であるスピーキング能力への取り組みに期待。今年実施できるよう早く通知が来ますように。

##### (3)授業力向上 (イ) 主体的・・・学習端末の研修

- ・「教職員への研修が2→5回に増え 学校閉鎖中などへ活用されている」  
茨木西高校の今までのICTへの取り組みが、具体的な成果に結びついていると高く評価しています。

(地域代表・田原委員)

1 確かな学力の育成

- ・ コロナの影響で全てにおいて満足のゆく成果が出せなかったのではないかと推察される。限られた時間で成果を出すのは至難の業ではあるが教職員全員が各自の才能能力を存分に生かして生徒の為に頑張ってもらいたい。

2 志高く、社会を切り拓く力の育成

- ・ 学校教育の場にこれほどの打撃を与えるコロナとの闘い、本当にご苦労様としか言いようがない。

3 自己肯定を持ち、社会人として自律する力を育む

- ・ 通学生徒の90%が自転車通学者で、自己管理能力が試される機会と思うし、常に高いコンプライアンスを持ち「すべきこと、してはいけないこと」を常日頃の教育から育てたい。

4 自分の周りの人、地域、世界とつながる力の育成

- ・ コロナの影響で密になる行事が中止になることが多かった事で大変だと気遣う。ただできることを積極的に前向きに行ってもらいたい。

5 教職員の生徒に向き合う力の強化

- ・ この一年間先生方はコロナに振り回されて大変ご苦労をされたと感じる。生徒は長い様で短い3年間の高校生活がコロナの影響で更に短くなったと感じている生徒が多くいると思う。出来ることから頑張ってもらいたい。

(代々木ゼミナール・山田委員)

1 (1) ア「マスクの着用、毎日の検温」について

- ・ 代ゼミでは「マスクをしない生徒がいる」と他の生徒からクレームが出るのが稀にありますが、これまでに御校でそうしたご苦労、もしくは工夫されていることはおありでしょうか。
  - マスクの着用については、日々の声掛けや保健室だより、ポスター掲示等、折に触れて促しているところです。マスクを外しがちな生徒は少数ですがいますので、そのたびに注意をしております。昨年はクレームが時々ありましたが、現在はほぼありません。

1 (1) イ「総合探究」について

- ・ 新規の取り組みにはご苦労も多いかとは思いますが、意義の大きなものになることと思います。対面での会議が可能になりましたら、詳細お伺いできましたら幸いです。
- ・ 全体として、生徒の学習・進学に対する意欲が高いように感じ、安心いたしました。不自由

だからこそ、人との直接のコミュニケーションを求める生徒も多いと思います。先生方のご尽力に頭が下がります。

- 「総合的な探求の時間」について、校内委員会で検討を進めているところです。
  - 1年次は、テキストを用いて担任と副担任で行い、仕事調べやプレゼンの仕方についての学習等
  - 2年次は、表現力向上プログラム（芸術鑑賞会等）やテーマ別探究、国際理解教育等
  - 3年次は、分野別ゼミ等といった案が出ています。

- ・ 使用教科用図書について、少し内容がそれますが、「情報Ⅰ」について、御校では専任の先生はおられますか。

- 今年度も免許を所有する担当教諭が在籍しています。